



人生の3大支出 2億円!?! どう準備する?!

人生の3大支出である【子どもの教育費】【マイホームに関わるお金】【老後資金】を合計すると、ざっと見積もって2億円前後かかると言われています(夫婦の価値観や生き方、優先順位などによって金額は異なります)。

1 子供の教育費

一般的には子どもの教育費や子育てに関わるお金は、進学進路や習い事などによっても異なりますが、大学を卒業するまでに一人当たり1,000~1,500万円ぐらいかかります。

大学までの教育費は出してあげたいという親心も理解できますが、そのために自分たちの老後資金などが貯められないということになると問題です。

場合によっては、子どもに奨学金などを活用してもらうことで教育費負担を親子でシェアしつつ、子どもが自立して結婚したり、マイホームを購入する時に、老後資金を確保した上で財産の余力があれば、サポートしてあげるという方法もあります。



2 マイホームに関わるお金

仮に3,000万円の住宅ローンを借入れた場合、例えば金利年1.65%の30年間全期間固定金利タイプのローンで、利息を含めると約3,800万円の返済総額となります。

他にも保証料や団体信用生命保険料、火災保険料、固定資産税、マンションならさらに管理費や修繕積立金、駐車場代も毎年必要です。このように利息や維持費・リフォームなどを考慮すると、マイホームにかかるお金は、生涯で5,000~7,000万円ぐらいは見積もっていたほうが無難です。



3 老後資金

定年以降のセカンドライフで、今のお金の価値で毎月いくらあればやりくりできるか、大まかでいいのでイメージしてみましょう。毎月25万円を使っていくとすると、仮に60歳から90歳までの30年間で必要なお金は、25万円×12ヶ月×30年=9,000万円。毎月30万円なら1億800万円になります。

物価上昇を考慮するとさらに厳しい数字になります。今、40歳だとしたら60歳まであと20年間ありますが、その間に物価が毎年2%ずつ上昇すると、現在の25万円の生活費が37万円に値上がりする計算になります。60歳で値上がりが止まればいいのですが、その後も同じペースで物価が上がれば、70歳で45万円、80歳で55万円になってしまいます。将来的な物価上昇の影響も十分考慮しておきたいです。



4回シリーズのまとめ

- いつまでも安心して、ゆとりある人生を実現するためには、
- ライフプランを立て、人生に関わる正しいお金の
- 知識を身につけて、夫婦で協力しながら
- 家計管理・財産管理を行っていくことが必要です。

